

平成 26 年度事務事業評価調査

事業コード	06040206	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	マイクロバス運行事業	担当部署名	総務課		
		作成責任者職氏名	課長 森田洋文	内線	221
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	06協働・行政経営	04健全な行財政運営	02行財政改革の推進		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和49年度～ 年度)	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	下平亦取村「マイクロバス」使用規程	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 村内における公的な団体で研修会、講習会等で団体活動の推進を図る。</p> <p>②内容 マイクロバスの運行調整、バスの手配</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか)</p> <p>村の執行機関、社会教育団体及び社会福祉協議会に属する団体</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)</p> <p>マイクロバスの円滑な運行</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題</p> <p>対象機関以外へのマイクロバスの使用。買い替えの時期や費用対効果を検討する必要がある。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	51	479	295	488	488			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源	51	479	295	488	488			
人員費								
一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10			
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	555	589	589	589	589			
総コスト費(千円)(A+C)	606	1,068	884	1,077	1,077			
人口あたりコスト(円)	100	176	146	178	178			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	運行回数	回	48	26	54%	48	48
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 54% / 1 = 54% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	一定人数の移動に必要である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	一定人数の移動に必要である。
③効率性 ※効率的に進められているか	2 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	利用頻度が低いため、所有の必要性について改めて検討する必要がある。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	必要時に利用できる。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	12 / 16	75% (B)
-------------------------	---------	---------

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
54%	75%	65%	c
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
C	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
団体での移動に必要であるが、効率性を検討する必要がある。今後、車輛の老朽化への対策が必要である。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
団体での移動には役に立つが、老朽化など維持管理の対策等が必要であり、マイクロバスのあり方について見直しを検討する必要があると考える。	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
・過去の運行実績ごとに必要性を吟味した上で、代替輸送の可能性を検討する必要がある。 ・効率の悪い事業には違いなく、このままでは新車の購入は考えられない。 ・多額の修繕を行うまでに、リース方式やレンタル方式、または送迎方法の廃止を含め、検討すべきである。 ・廃止時期を考え、今から計画的に対策を立てるべきである。	D A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
団体での移動には役に立つが、老朽化など維持管理の対策等が必要であり、マイクロバスのあり方について見直しを検討する必要があると考える。	D A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止